



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,152	△8.9	58	—	67	—	51	—
28年3月期第2四半期	4,556	4.8	5	—	△0	—	△20	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △8百万円( -%) 28年3月期第2四半期 △12百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.62	—
28年3月期第2四半期	△2.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,194	6,203	67.0
28年3月期	9,255	6,258	67.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,162百万円 28年3月期 6,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△5.3	300	47.4	300	49.3	200	22.9	21.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	9,382,943株	28年3月期	9,382,943株
29年3月期2Q	232,705株	28年3月期	232,705株
29年3月期2Q	9,150,238株	28年3月期2Q	9,152,845株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策の効果や、消費税率の引き上げ延期決定など、アベノミクスの下支えはあるものの、国内外の先行き不安から消費者マインドが低迷し、節約志向がより鮮明になっております。また、海外経済についても中国を始めとするアジア新興国の景気減速、英国のEU離脱問題など、不確実性が高まり為替変動の影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、少子高齢化が進み量的な拡大が見込めない中、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒され、更にフードディフェンスを含めた品質や安全に対する要求に応えるための取り組み強化によりコストが増大しております。

このような状況のなか、当社グループは、利益向上を重点に販売活動を行い、また、売上原価の上昇を抑えるため、生産体制の改善を継続実施するなど、収益力の向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は41億5千2百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、市場の拡大を図るため、凍豆腐の健康機能に関して研究を継続して進め、広報活動に注力してまいりました。その内容としては、凍豆腐にはコレステロールの調整作用があるレジスタントタンパクが多く含まれており、その理由を解明した研究論文を業界団体を通じて発表いたしました。また、大学・公的機関などの協力を得て健康食講座や料理教室の実施など独自の普及活動にも注力してまいりました。営業活動でも、凍豆腐を素材として用いた菓子・洋食など新しい調理方法の提案型販売促進を展開し、新規販売チャネル開拓を続けてまいりました。しかしながら大きく伸長した前年同期の売上には及ばず、売上高は19億6千万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。なお、凍豆腐の新たな機能として長期摂取による糖尿病予防・改善効果について論文発表を行うなど、更なる普及活動に努めております。加工食品においては、単品収益管理の徹底を図り、不採算アイテムの大幅な改廃など収益改善に努めてまいりました。並行して当社独自の特許製法によるアルコール無添加、化学調味料無添加の即席みそ汁シリーズや減塩タイプの即席みそ汁など健康指向の商品を発売しましたが、市場の競争が更に激化しており、売上高は12億7千2百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。その他の食料品のうち、医療用食材はユーザーへの直接訪問を基本とした営業活動を積極的に行った結果、継続して堅調に推移しておりますが、それ以外の売上が減少したため、売上高は9億2百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

利益面では、販売価格の改善や生産体制の見直し等による収益構造の改善効果が表れており、営業利益5千8百万円（前年同四半期は5百万円の利益）、経常利益6千7百万円（前年同四半期は0百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益5千1百万円（前年同四半期は2千万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ6千万円減少し、91億9千4百万円（前連結会計年度比0.7%減）となりました。総資産の減少の主な要因は、製造設備の取得などにより有形固定資産が2億3千7百万円増加したものの、現金及び預金が1億1千万円減少し、受取手形及び売掛金が1億8千9百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ6百万円減少し、29億9千1百万円（前連結会計年度比0.2%減）となりました。負債の減少の主な要因は、短期借入金の増加2億9千9百万円などがあつたものの、長期借入金の減少9千7百万円、仮受消費税等の減少9千3百万円、支払手形及び買掛金の減少7千4百万円、退職給付に係る負債の減少4千8百万円があつたことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度に比べ5千4百万円減少し、62億3百万円（前連結会計年度比0.9%減）となりました。これは為替換算調整勘定が7千3百万円減少したことなどによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.1ポイント減少し、67.0%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加は5千4百万円であります。

資金の増加の主な要因は、未払金の減少額8千8百万円、たな卸資産の増加7千7百万円、仕入債務の減少額7

千3百万円、未払消費税等の減少9千4百万円などがあったものの、減価償却費で2億1千万円、売上債権の減少額1億8千4百万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額と流入額の差額で1億8千9百万円の資金減少となっております。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増減差額6千7百万円、売上債権の増減差額2千2百万円、退職給付に係る負債の増減差額2千1百万円などの流入増加があったものの、賞与引当金の増減差額で6千8百万円、たな卸資産の増減差額で8千万円、仕入債務の増減差額で4千6百万円、未払消費税等の増減差額で8千8百万円の流入減少となったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、4億1百万円であります。

資金の減少の主な要因は、定期預金の預入による支出と払戻による収入の差額で1億2千7百万円、有形固定資産の取得による支出で2億6千7百万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が2億3千万円増加しております。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が1億6千4百万円増加したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、1億3千8百万円であります。

資金の増加の主な要因は、長期借入金の返済による支出9千8百万円、配当金の支払額4千5百万円があったものの短期借入金の実行により3億円の増加があったことによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流入額と流出額の差額で2億7千6百万円の資金の増加となっております。この主な要因は、当第2四半期連結累計期間に短期借入金を実行したことによる短期借入金の増減差額3億円の流入増加となったことなどによるものです。

以上により当第2四半期連結会計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ2億3千7百万円減少し、9億5百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期通期の業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、平成28年11月9日公表の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成29年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,298,569	2,188,350
受取手形及び売掛金	1,690,116	1,500,915
たな卸資産	954,657	1,023,392
繰延税金資産	3,219	4,781
その他	71,870	54,331
貸倒引当金	△4,580	△5,181
流動資産合計	5,013,854	4,766,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,484,904	5,522,307
減価償却累計額	△4,418,870	△4,447,828
建物及び構築物(純額)	1,066,033	1,074,478
機械装置及び運搬具	5,965,813	6,153,966
減価償却累計額	△5,284,646	△5,253,504
機械装置及び運搬具(純額)	681,167	900,461
土地	1,671,643	1,687,173
リース資産	158,697	185,733
減価償却累計額	△40,856	△54,840
リース資産(純額)	117,841	130,892
建設仮勘定	25,684	10,193
その他	434,657	428,657
減価償却累計額	△381,593	△378,941
その他(純額)	53,064	49,716
有形固定資産合計	3,615,434	3,852,916
無形固定資産	384,299	330,062
投資その他の資産		
投資有価証券	169,119	171,298
繰延税金資産	1,576	1,576
その他	76,045	77,029
貸倒引当金	△4,691	△4,691
投資その他の資産合計	242,049	245,212
固定資産合計	4,241,783	4,428,191
資産合計	9,255,638	9,194,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	642,115	567,587
短期借入金	225,871	525,012
リース債務	33,818	39,532
未払金	411,845	386,195
未払法人税等	40,510	24,360
賞与引当金	93,369	61,555
設備関係支払手形	115,075	187,567
その他	233,697	137,928
流動負債合計	1,796,303	1,929,740
固定負債		
長期借入金	459,539	362,033
リース債務	120,444	125,674
繰延税金負債	90,129	90,998
退職給付に係る負債	474,807	426,047
資産除去債務	48,137	48,413
その他	8,100	8,100
固定負債合計	1,201,159	1,061,266
負債合計	2,997,463	2,991,007
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,345,187	3,350,863
自己株式	△129,503	△129,503
株主資本合計	6,465,952	6,471,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,962	17,438
繰延ヘッジ損益	△228	△791
為替換算調整勘定	121,987	48,911
退職給付に係る調整累計額	△395,297	△374,403
その他の包括利益累計額合計	△255,575	△308,844
非支配株主持分	47,798	40,989
純資産合計	6,258,174	6,203,773
負債純資産合計	9,255,638	9,194,781

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,556,299	4,152,515
売上原価	3,385,545	2,970,290
売上総利益	1,170,754	1,182,224
販売費及び一般管理費	1,165,514	1,123,756
営業利益	5,239	58,468
営業外収益		
受取利息	655	1,174
受取配当金	792	986
受取保険金	2,284	3,393
補助金収入	7,203	300
雑収入	6,282	6,338
営業外収益合計	17,219	12,193
営業外費用		
支払利息	4,529	3,435
為替差損	932	-
製品自主回収関連費用	17,283	-
雑損失	182	172
営業外費用合計	22,927	3,607
経常利益又は経常損失(△)	△468	67,054
特別利益		
固定資産売却益	-	123
特別利益合計	-	123
特別損失		
固定資産売却損	298	17
固定資産除却損	3,973	4,358
特別損失合計	4,272	4,376
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△4,740	62,801
法人税、住民税及び事業税	14,517	11,679
法人税等調整額	1,282	△1,615
法人税等合計	15,800	10,063
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,540	52,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	1,310
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,627	51,427



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,540	52,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,318	△523
繰延ヘッジ損益	△5,052	△562
為替換算調整勘定	13,253	△81,195
退職給付に係る調整額	1,531	20,894
その他の包括利益合計	8,414	△61,387
四半期包括利益	△12,126	△8,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,538	△1,841
非支配株主に係る四半期包括利益	1,411	△6,809

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△4,740	62,801
減価償却費	211,244	210,264
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,398	1,303
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,991	△31,813
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△70,703	△48,760
受取利息及び受取配当金	△1,448	△2,161
支払利息	4,529	3,435
固定資産売却損益(△は益)	298	△105
固定資産除却損	3,973	4,358
売上債権の増減額(△は増加)	162,387	184,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,901	△77,249
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,562	△73,895
未払金の増減額(△は減少)	△77,582	△88,280
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,830	△94,770
その他	21,245	36,920
小計	260,104	86,593
利息及び配当金の受取額	1,566	2,279
利息の支払額	△4,545	△3,190
法人税等の支払額	△13,486	△31,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,639	54,210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,099,306	△1,177,753
定期預金の払戻による収入	1,050,000	1,050,000
有形固定資産の取得による支出	△103,481	△267,668
有形固定資産の売却による収入	299	178
無形固定資産の取得による支出	△2,346	△5,308
投資有価証券の取得による支出	△17,729	△1,779
貸付金の回収による収入	1,501	647
その他	△182	382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,246	△401,301
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△100,830	△98,365
リース債務の返済による支出	△10,051	△18,256
自己株式の取得による支出	△542	-
配当金の支払額	△27,534	△45,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,958	138,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,229	△28,893
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△68,795	△237,972
現金及び現金同等物の期首残高	834,373	1,143,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	765,578	905,566

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,535,043	4,535,043	21,256	4,556,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	590	590	—	590
計	4,535,633	4,535,633	21,256	4,556,889
セグメント利益	657,908	657,908	17,446	675,355

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	657,908
「その他」の区分の利益	17,446
全社費用(注)	△670,116
四半期連結損益計算書の営業利益	5,239

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,135,058	4,135,058	17,456	4,152,515
セグメント間の内部売上高 又は振替高	383	383	—	383
計	4,135,442	4,135,442	17,456	4,152,898
セグメント利益	743,299	743,299	13,708	757,008

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	743,299
「その他」の区分の利益	13,708
全社費用(注)	△698,540
四半期連結損益計算書の営業利益	58,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。